新設組合紹介　秋田循環資源協同組合

佐々木理事長

【組合の紹介・PR】　当組合は、大仙市において一般廃棄物処理業（し尿収集運搬業務）を行っている7名で設立されました。大仙市では、今後、下水道普及率の上昇に伴い、業務量の減少が想定されます。そこで、仕事量の確保について検討していたところ、平成25年4月に、小型家電のリサイクルを推進するための法律として「使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が施行される予定となっているため、ステーション回収業務の受注を目指すことと致しました。

このほか、購買事業、環境保護等の教育情報事業についても積極的に行い、組合員の体質強化、また経済的地位の向上を図り、資源確保、廃棄物減量化という多角的な視点から循環型社会形成の一翼を担って行くことを目的としています。

【理事長から一言】

今後の抱負…私ども「秋田循環資源協同組合」は読んで字の通り「ゴミから資源」への転換を進めるために設立しました。生命と言わず物質も全て循環の中で考え捉えると無駄が無くなりあらゆる連携が生まれます。循環が命です。

- **所 在 地**　秋田県大仙市北楢岡字小路袋253番地の3
- **代表理事**　佐々木　正光
- **出 資 金**　700,000円
- **組合員数**　7名
- **主な事業**　共同購買、共同受注
- **成立年月日**　平成25年3月27日

組合ティールーム

コーディネート秋田協同組合
理事長　佐賀　善美 さん

○業界の現状について

当組合は、平成12年に縫製業者が共同販売、共同購買や外国人技能実習生（以下、「実習生」という。）の受入を目的として設立しました。現在、実習生の共同受入事業を中心に活動していますが、中国では、急激な経済成長に伴い、日本との人件費の差が小さくなってきており、有能な人材を集めることが難しくなっています。

○理事長としての抱負

当業界では、多品種少量の発注に対応することや、メイド・イン・ジャパンならではの質の高い製品をつくることが課題となっております。言葉や生活習慣の違いがある実習生と仕事を進めるためにはコミニュケーションを密にし、チームプレーで様々な業界の課題に取り組んでいかなければなりません。そのために、地域の行事に参加したり、日本語作文コンクール等の実施を通じて、日本語能力の向上を図っています。

○座右の銘

大切にしている言葉は二つあります。一つは、中学時代の恩師の言葉で、「決心・実行・継続心」です。私が仕事に向かうとき、この言葉が基本姿勢となっています。もう一つは、高校時代の校長先生が訓示された言葉で、「汝（なんじ）何のためにそこにありや」です。年齢や経験を重ねて、今後の生き方や目標について考えるときに、この言葉の重みを感じます。

○趣味

趣味は、読書とゴルフ、家庭菜園です。視野を広げるために歴史小説や経営学の本をよく読んでいますが、特に「プレジデント」を長年愛読しています。ゴルフは、年20回程度プレーしており、雄大な自然を満喫できるところが好きです。家庭菜園もその延長線上にあり、土いじりを通して季節を肌で感じています。

第65回中小企業全国大会（滋賀県大会）開催日程のお知らせ

日　時：平成25年10月24日（木）
場　所：滋賀県立芸術劇場　びわ湖ホール（滋賀県大津市）

※　全国大会開催に伴い、本会では、滋賀・京都を巡る1泊2日のオリジナルツアーを企画いたします。ツアーの詳細が決定しましたら、あらためてご案内いたしますので、是非ご参加下さい。